

水に混入する

濁り、砂、砂利が混入する



原因

配・給水管等の水道工事の際、不十分な清掃作業により、砂や砂利が残る場合がある。また、クロスコネクション、受水槽、高置水槽の管理不良の場合もある。

対策

配・給水管の洗浄および捨水を行う。また、受水槽及び高置水槽の管理上の問題がある場合は保守管理の徹底を

ミミズ、ユスリカ等の微小生物が混入する



原因

もともと水道水に混入していたのではなく外部からの侵入が原因と考えられ、受水、高置水槽の管理不備、あるいは水抜き栓、及び不凍給水栓の根元が漏水し、開閉の際に侵入すると考えられる。

対策

排水の混入が疑われるケースでは、原因が判明するまで飲用をやめ、迅速な対応が求められる。また、ろ過池洗浄条件等の浄水処理工程等をチェックすることが必要である。

水源生物の漏出が認められる



原因

ダム湖を水源としている場合は、緑藻類が異常繁殖し、ろ過水に漏出する場合がある。また、地下水を水源とし、塩素注入のみで配水している水道施設では、ヨコエビ、ミズムシ等の地下水生物が水道水中に漏出することがある。

対策

漏出生物の特定及び水源管理の強化を図る。また、ろ過池洗浄条件等の浄水管理工程等を再点検する必要がある。

白いモノが発生する

アルミニウム製容器の内面に白い斑点が発生する



原因

アルミ製容器内面のアルマイト処理した被膜の劣化。アルミ素地が露出したため空気や水道水の酸素と結合し白い水酸化アルミニウムが形成されたことによるもの。

対策

空炊や金属たわし等で洗ったりせず、スポンジ等の柔らかい物を使用する。水酸化アルミニウムは水に溶解せず、安全性に問題はない。

氷の中央部に白い固形物が発生する



原因

水は外側から徐々に凍ってゆくのので、水道水中に溶けている空気やミネラル分が中央部に濃縮され、白い浮遊物となって残ることがある。

対策

ほこりや、ゴミなどが入り込む場合もあるが、ほとんどは空気やミネラル分であり、安全性に問題はない。

やかん、加湿器の吹出し口周辺、蛇口等に白い固形物が付着する



原因

水道水中のカルシウム、マグネシウムなどの硬度成分等が煮沸することにより析出し、やかん等に白いスケールを形成する。

対策

硬度の高い水質ほど析出量が多いが、水のミネラル分であり、安全性に問題はない。